

＜人権教育にかかわる年間指導計画＞

【基本的な考え方】
 子供一人一人が学校生活を楽しく送ることができるよう、教師や子供同士の人間関係の育成を重視した指導を展開する。



【年間指導計画作成のための方針】
 ○ 児童の望ましい人間関係の育成のために、友達のよい行いに着目させ、他の人の大切さを認められるようになることを重視した指導を展開する。
 ○ 生命を尊重する心情と態度を育成するために、道徳と特別活動の授業の指導の関連を図る。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	学級の子供たちのよいところを紹介し讃える。児童相互の関わりを大切にする。					友達同士のよいところをお互いに紹介し合う児童を育む。				他の人の大切さを認めることを中心に指導する。			
各教科		生活「野菜を育てよう」自分で野菜を育てることを通して、植物を大切に生命として尊重する。		生活「生き物と友達になろう」小動物にふれ、命を大切に私生活する。		国語「きつねのおきやくさま」優しい言葉かけが人の心を支えていくことを理解する。			生活「みんなで作ろうフェスティバル」1年生が喜ぶことを計画し、思いやりをもって2年生らしく接する。	国語「アレクサンダとぜんまいねずみ」命あるものとして、「共に」生きることを理解する。	生活「大きくなった自分を確かめよう」大切に育てられてきた自分に気付き、家族・友達を大切にする。		
道徳	よいのかな（規則の尊重）人間関係づくりにおいて約束を守ることが大切であることに気づく。		たっくんもいっしょに（公正、公平、社会正義）誰に対しても公正、公平に接することが大切だとわかる。				きつねとぶどう（感謝）日頃世話になっている人々に感謝する気持ちをもつ。			いまのぼく むかしのぼく（生命の尊さ）自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることがわかる。			
特別活動	＜1年生を迎える会＞協力して1年生を迎える。		学級活動「本となかよし」本のよさを知り、楽しく読書する計画を立てる。				＜学習発表会＞「表現」「鑑賞」			ユニセフ活動 世界の子供のことについて、関心をもつ。	6年生を送る会 6年生への感謝の気持ちをもつ。		
学校行事等													
保護者・地域との連携	＜挨拶運動＞（通年）挨拶を通して温かい人間関係の基礎をつくる。												
	＜保護者会4月・2月＞家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。		ふれあい月間		＜個人面談7月・12月＞家庭からの連絡と学校からの報告により、家庭との連携を強化する。		＜スタディウィーク 4・9・1月＞生活のきまりについて説明する。		ふれあい月間		＜道徳授業地区公開講座 1月＞人権教育・道徳教育について説明する。		ふれあい月間